

《八幡小・中央中学校区の課題・特長》

- ・校区の児童生徒は、少ない児童生徒数の中、友達や教師との関わりの中、心穏やかに学校生活を過ごしている。（質問紙から）
- ・身体的成長やインターネットを介した情報（SNS）等は、他校同様、成長の早期化や情報過多の傾向にある。（事象等現状から）
- ・固定化された人間関係ができやすく、長欠や不登校に結び付きやすい傾向がある。多様なかかわり方による複線でのかかわりを検討する必要がある。（教育相談やアンケート等から）
- ・学習に対する姿勢は、真面目であるが受け身で、探究的な部分が弱い傾向がある。（授業、学習の様相から）



《八幡小・中央中学校区の「目指す子どもの姿」設定》

- ・校区の課題と八幡小・中央中学の現状を、学校運営協議会で「目指したい子どもの姿」を熟議の議題として議論
- ・八幡小・中央中それぞれの学校教育目標のキーワードや整合性を協議
- ・中央中学校区として「目指す子ども像」を設定し、学校運営協議会で議論
- ・「目指す子ども像」をもとに各期の状況や取り組むべき内容を設定、議論

《八幡小学校・中央中学校で目指す子どもの姿》

- ① **自ら学び**、疑問や問題に対して、主体的に取り組む子ども
- ② **思いやりをもって**、お互いのよさを見付け、仲間を大切にできる子ども
- ③ **健康・安全**について理解し、自らの生活をデザインできる子ども

《子どもの姿の具体》（行動目標）

- ① わかり、できるようになるために、繰り返し取り組む。自分の課題として、考えをもつことができる。
- ② 友達に笑顔で優しい言葉かけ、手助けができる。
- ③ 早寝早起き、歯磨き、食事などの基本的な生活習慣を守り、続けることができる。

《八幡小・中央中学校区の重点》

○ わかる楽しさ、できる喜びを 実感できる学校の教育活動の創造 「Second Stageにおける」一貫の具体

- ・教科内容の系統性を意識した指導
 - ⇒ 学びの履歴をもとにした内容想起・振り返り
 - ⇒ 社会につながる資質能力としての意味付け
- ・専門教科の乗り入れ、相互交流（学びの接続）
 - ⇒ 専科指導・持ち合い授業、TT、合同授業
- ・総合的な学習・特別活動における関連や接続の重視
 - ⇒ 総合的な学習の系統化と教科との関連性や積極的な横断的なアクション
 - ⇒ 対人スキルアップなどの系統性・接続の意味付け
 - ⇒ ICTの活用と表現・発信方法の多様化
- ・道徳等の「心の教育」に資する学習内容の実施時期の近接化
- ・学校行事・体験活動等の共有
 - ⇒ 学校行事の共有や近接化
 - ⇒ 校区内社会施設の効果的活用
- ・その他〇〇教育の共有
 - ⇒ 様々な社会の要請に応じた教育の重点化と配分
- ・特別支援教育の一貫した支援・配慮
- ・学校施設等の共有
 - ⇒ 運動場や体育館の共用
 - ⇒ 学校図書館や図書等の共有
- ・児童会・生徒会を通じた接続・共通した取組
- ・健康保健、学校安全（防災）に関する取組
- ・家庭と地域をつなぐ働きかけ

☆ 生涯にわたって学び続けようとする基礎基本の定着と
学び続ける意欲の育成

総合的な学習（探究的なテーマ学習）を軸にした合科的教科
「未来科」

SDGs とつながる持続可能な未来の担い手の育成を目指すもの

《八幡小・中央中学校区の

First Stage（小1～小4）

Second Stage（小5、6～7年（中1））

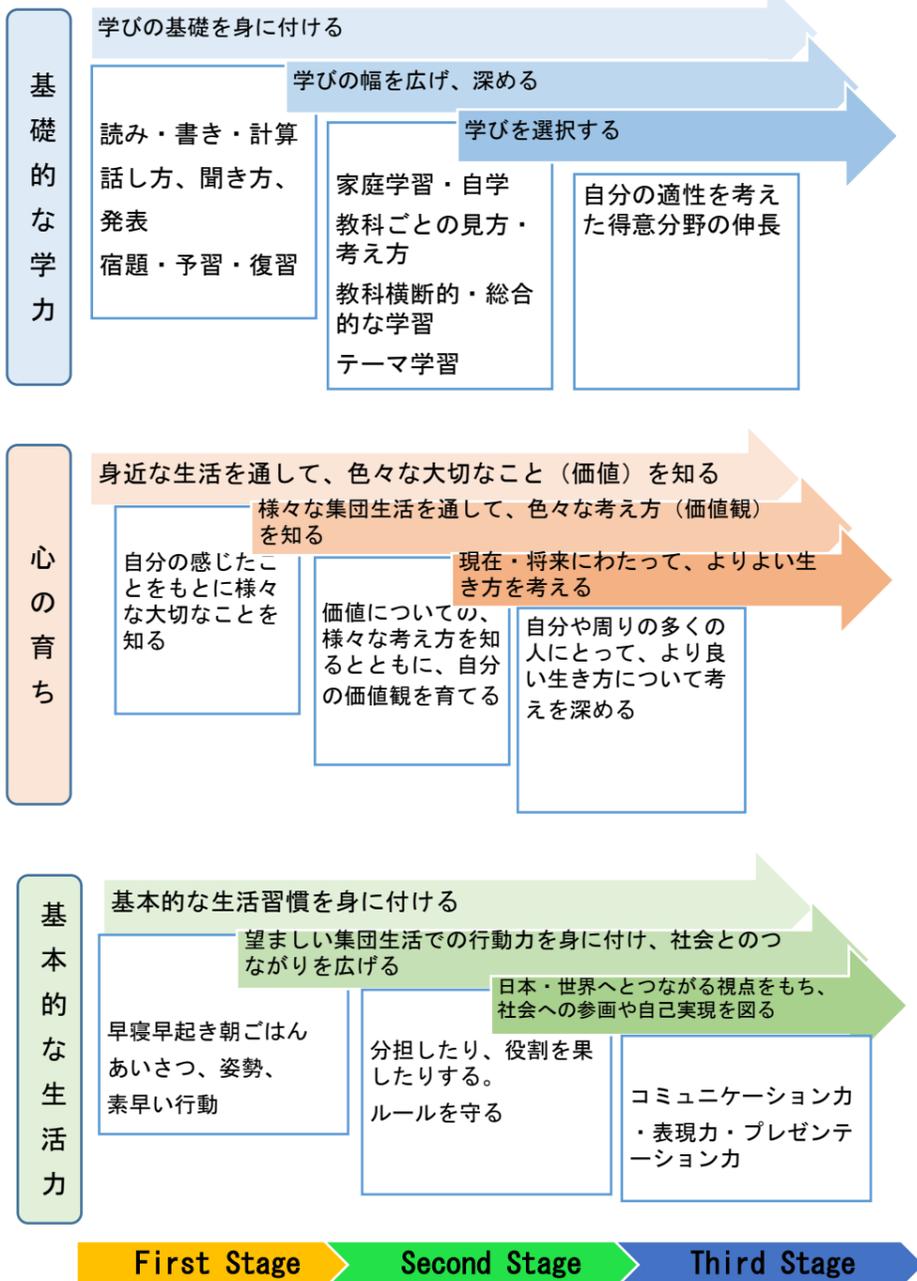
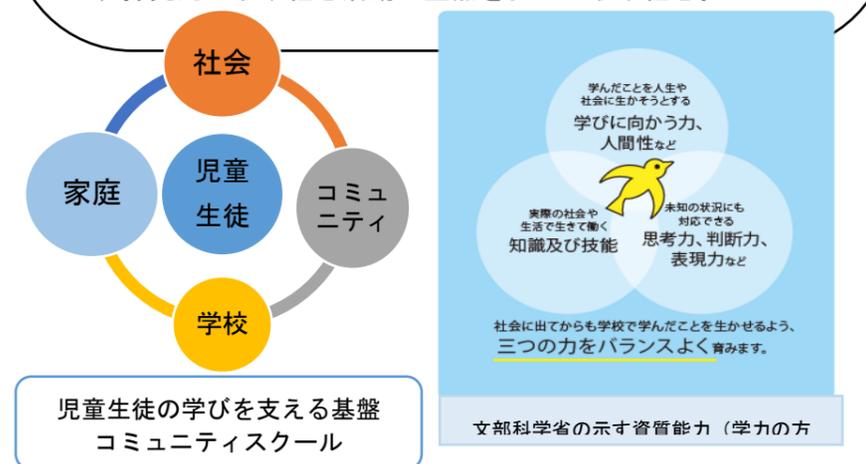
Third Stage（8年・9年（中2、3））

区分の設定のねらい》

・従来の6-3制の中では、児童の成長や実情に対応しづらい部分が多く、学校生活に充実感が得られていないのではないかと。Stageを再設定することにより、指導すべき項目を重点化し、成長や実態にあった学びの内容とアプローチをマッチさせる意味で、小学校高学年と中学校1年をSecond Stageとして位置付け、重点化して、小学校、中学校で協働して、児童生徒の学びを構築することにした。

・First Stageは、家庭生活から学校生活への適応や学習への適応の基礎を徹底して指導する。Third Stageは、これまでの学習を振り返り、自己の特性や特徴を知り、キャリア形成を意識した進路選択ができるよう上級学校の状況や社会の動き、ひいては、世界にも目を向けるようなこれから先を見通す指導をする。

・Second Stageは、前期後期を繋ぐ期として、学習においては、学習の振り返りと将来の展望をもった指導に取り組む。体験活動や学校行事、多様な学習においては、課題や目標を設定し、探究的に取り組む活動に重点をおいて取り組む。

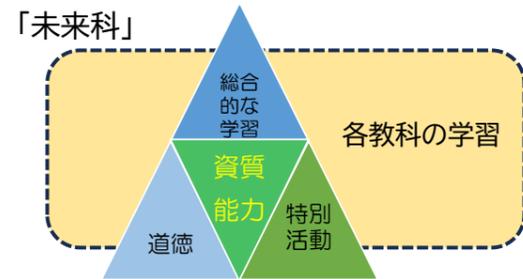


【未来科のイメージ】

《ゴールテーマ》
「北九州市、八幡東区、中央校区、自分の魅力を
世界の人に発信しよう。」

・学んだことや調べてこと通して、仲間と意見交換や発表することを通して、将来の自分、これからの自分を意識した考えをアウトプットできるようにする。

総合的な学習（探究的なテーマ学習）を軸にした合科的教科「未来科」



総合的な学習 統合された深い学び

- ・テーマを子ども自らが設定し、追究する
- ・自分のもつスキルや能力を拡大させる

道徳 価値観を背景に豊かな心情をもつ

- ・多く価値観と出会い、多様な考え方を知る
- ・得た考え方をもとに、未来志向的に自身の生き方を考える

特別活動 自己決定や自己選択の豊かな活動

- ・話し合いや熟議を通して、自己決定をする
- ・豊かな体験と心情を結び付ける

総合的な学習、特別活動、道徳、及び内容に関連性のある学習教科を結んで、「未来科」と呼び、学習内容や学びの関連性をもたせることで、探究的な深い学びにつながる学習スタイルを目指す。

【「未来科」の名称及びその意味】

「未来科」とした意味は、学んだことを起点に自身の将来・未来や社会、ひいては世界の未来に目を向ける視点をもたせたいと考えたからである。この未来の視点をもつことによって、義務教育段階で必要な「キャリア教育」と結び付け、小中の目指す子どもの姿を具現化し、より広い世界へ結び付けたいと考えたからである。

未来への視点をもつとは、学んだことを元に、授業の振り返りの中で、自分の未来に結び付たコメントや見通しをもたせるなどの具体的な行動を伴った取り組みである。関連する他のこれまでの学びや教科について具体的に記述させるなどを展開している。

小学生から中学生まで、それぞれの発達段階に応じて、わかったり、調べたりしたことをもとに、色々な形で表現の形で未来科発表会を実施している。

【八幡小学校・中央中学校校区学校運営協議会の組織・取り組み】
*国型学校運営協議会として設置、承認などの議決を行う。

《構成メンバー》

- ◎八幡大谷まちづくり協議会会長、枝光南まちづくり協議会会長、地域学校協働活動推進員、八幡小学校 PTA 会長、中央中学校父母教師会会長、八幡小学校校長、中央中学校校長
- ※オブザーバー参加（内容によりメンバーが変わる）
- 上記：八幡大谷市民センター館長、枝光南市民センター館長
- △ 併催 地域学校協働活動本部運営委員会（多くのメンバーが重複するため同日に、連続して開催）

《年間の主な議題》

- ・第1回 本年度学校経営方針確認、年間学校行事確認、他
- ・第2回 学校の取り組み状況、目指す子供像等、他
- ・第3回 前期学校評価、求める教師像や人材、他
- ・第4回 北九州市の小中一貫教育に関する方針説明、他
- ・第5回 次年度学校経営方針、年間行事見込み、他

【八幡小学校・中央中学校両校で取り組んだ関連する主な行事等】
令和6年度

- 4月
 - ・小中学校教員による、乗り入れ授業（中⇒理科・体育、小⇒理科）
 - ・第1回学校運営協議会
 - ・職員合同研修
 - ・小中合同挨拶運動（月1回 第1火曜日）



- 5月
 - ・中学校体育大会等（練習見学等）
- 6月
 - ・大人としゃべり場
 - ・第2回学校運営協議会



- 7月
 - ・スポーツテスト、体力測定合同授業
- 8月
 - ・教職員小中合同研修



- 9月
 - ・第3回学校運営協議会
- 10月
 - ・小学校芝生養生中の中学校校庭開放
 - ・中学校合唱祭、合唱祭入賞学級小学校演奏披露
 - ・小中合同避難訓練、集団下校

- 11月
 - ・児童会・生徒会合同会議（3Kスローガン・ブルーリボン運動）
 - ・第4回学校運営協議会（臨時）
 - ・学校保健委員会（校医さん、児童生徒参加による）

- 12月
 - ・中央中学校未来科発表会・文化展示公開



- 1月
 - ・八幡小学校未来科発表会
 - ・小学校風揚げ中学校グラウンド

- 2月
 - ・中学校説明会
 - ・第5回学校運営協議会

- 3月
 - ・卒業式見送り（計画中）

《行事の際の施設の共用、小中の校時表（時程）の刷り合わせ、渡り廊下の設置、小中連絡用インターホンの設置、研修・会議日の共通化》

【八幡小・中央中の一貫教育の概要】



八幡小学校の教育目標

家庭や八幡小地域、中学校と連携し合い、「豊かな人間性とたくましい体」をもち、自ら学び自ら考え、協力してよりよい生活を創り出していく子どもを育成する。

八幡小 スローガン

「時を守り」
「場を清め」
「礼を正す」



中央中学校の教育目標

「規律ある学校生活を通して、確かな学力を身に付け、思いやりがあり心豊かで健やかな体をもつ生徒を育成する」
【ミッション】（使命）～小中一貫教育を推進し、学びの連続性を確立する～
【ビジョン】（行動指針）～自分を発見できる学校教育の推進～

中央中 校訓
自立・克己・友愛



令和7年度	八幡小	中央中
児童生徒数	244人	192人
学級数 （特別支援）	12学級（2学級） （情2）	9学級（3学級） （知1情2）
学年・学級 *1年～	1.2.2.2.1.2	2.2.2

◎ 令和7年度 八幡小・中央中学校区では、小中一貫教育校として、スタートをきりなおします。DXスクールとしてGIGA端末の促進を図ります。前期・後期制（2学期制）を継続します。

学校教育の在り方を見直して、学校の教育内容の厳選と児童生徒と向き合う時間を大切にします。
（*八幡小学校・中央中学校で相談し、推進します。）

学校所在地：福岡県北九州市八幡東区中央3丁目9番1号（八幡小）
2号（中央中）

電話・FAX 八幡小 093-661-8933 ・ 093-661-8934
中央中 093-662-2190 ・ 093-662-2191

学校代表メール 八幡小 yahata-e@kita9.ed.jp
中央中 chuo-j@kita9.ed.jp